

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

アイジー工業株式会社

東根市にある、建築用断熱外装材（金属サイディング・金属ルーフ・金属サンドイッチパネル）の研究開発、製造、販売を手がけるアイジー工業株式会社の酒井星南さん取材しました。

酒井さんは2022年に入社しました。現在は、人事チームで勤務しています。

（1）仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。



左：人事チームリーダーの保科さん

人事チームで採用関係の業務と社内研修を担当しています。具体的には、インターンシップや合同企業説明会への参加、入社1、2、3年次向け研修の企画運営などを担当しています。

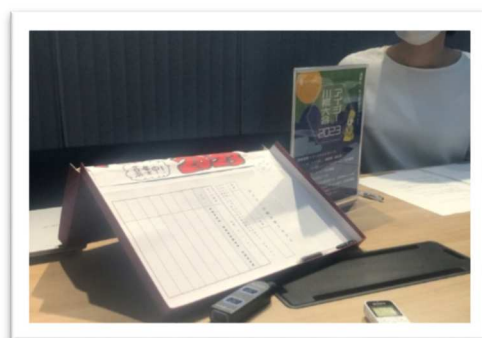
——インターンシップの内容や参加方法について教えてください。

当社のインターンシップは、対面形式と遠方の方向けのオンライン形式があります。対面形式では、実際に当社の主力製品である金属サイディング（表面が金属で、断熱材が裏打ちされている外壁材）を製造している工場を見学していただきます。また工場見学に先立って、当社の製品を使っている物件に立ち寄り、製品がどのように使われているかを実際に見てもらっています。

また、オンライン形式では、企画会議にグループワーク形式で参加していただきます。テーマは、知名度向上のためのブランディング活動を考える内容となっています。

—— 『魅力プレゼン大会』の動画を Youtube で拝見しましたが、ブランディング活動の一環として実施しているのでしょうか。

当社では、ブランディングに関して力を入れていて、CM を制作したり、渋谷のスクランブル交差点近くに広告を出したりして、知名度を上げていく社外向けのアウトターブランディングと、『魅力プレゼン大会』や『アイジー川柳大会』のように、職場の魅力を社員で PR し合っって共有することで「自分の会社をいい会社だな」と感じてもらい、モチベーションを高めることを目的とするインナーブランディングに取り組んでいます。



(2) 職場編

—— アイジー工業株式会社に就職を決めたきっかけは何ですか。



私は実家が山形で、もともと地元の企業で働きたいという気持ちがありました。山形大学のキャリアサポートセンターに通い、いろいろな山形県内の地元企業について教えてもらう中で当社を知りました。

就職活動では、コロナ禍でオンライン形式での会社説明会が多く開催されていました。東京に本社がある大手企業も受けましたが、大手企業で大きい組織の中の一人という働き方よりも、地元にしっかり根付いている中小企業の社員として、若いうちから責任感ややりがいを持って仕事ができる働き方が自分に向いていると感じたことが当社への入社へのきっかけです。

——入社後にはどのような研修があったのでしょうか。

大卒向けの一年間の研修は、半年近く製造部での研修になります。当社の工場は現在、寒河江、東根、茨城県の水戸の3か所にあります。そこで実際の製造ラインに入って、製品と製造技術に関することを学びます。その後、研究開発部、営業部、総務部と全部署を回って研修を行います。今年からは、資材の購買や製品の配送関係を所管するサプライチェーンマネジメント部が新設されたので、こちらの部署も追加になっています。



——全部の部署を回って研修することで、会社のことをまずは知るということでしょうか？

(酒井さん)

そうですね。製品の研究開発、製品の知識と製造工程に関する理解、製品の原料となる資材の購入、製品の販売方法、そして全部門をサポートする総務部門、それぞれの仕事を理解し、当社の全体的な業務の流れを知ることを目的としています。もちろん、全社のどこにどのような社員がいるのかを、1年を通して知ってもらうことにもつながっています。私も今人事チームに配属されて、様々な部門の社員と連絡をとっていますが、1年目の研修で全部門の社員と人脈を作れたことは役に立っていますね。

それから、社員を知ると言う点では、社内報と『まっすぐ宣言』（後述します）も役立っています。

(保科さん)

当社は社員同士の距離が、管理職も含めて近い職場づくりを目指しています。社内報「愛路」(年4回発行)は社員の趣味など、その人の人柄がよくわかる記事が掲載されています。何年前の社内アンケートですが、社員の95%が「読んでいる」、「楽しみにしている」と回答していて、当時お手伝い頂いたコンサル会社の方も、あまりの高さにびっくりされていました。それだけ、会社と一緒に働いている社員に興味があるのだらうと思います。

『まっすぐ宣言』は、当社のコーポレートスローガンに「まっすぐに」が入っていることから、全社員が今年1年、何を心に留めて業務にあたるかを社内に宣言します。それらをまとめた冊子が毎年発行されるのですが、全社員の顔写真と名前が載っているので、社員同士がお互いを知るのにとっても便利です。

———その後の年次研修では、より専門性に特化していくのでしょうか？

当社の金属サイディングには、鉄板がぐるぐる巻きの状態になっている「コイル」と呼ばれる資材を購入して成形する製造工程があります。1・2年次研修では、その「コイル」を製造している企業を訪問し工場見学させていただき、どのように製造されているかを学んでもらう研修を行います。

———自社の製品をより詳しく知り、誇りを持って顧客に説明できるために研修が企画されているのですね。

他には、東京で開催される国内最大規模の建材に関する展示会を視察します。そこでは、様々な企業や製品、新しい技術に触れることで、情報収集の重要さや、視野を広げることを狙いとしています。

———入社してから成長を感じた点について教えてください。

まだ、配属されて5か月くらいなので、なかなか個人的に成長したと思う部分がないのですが、自分の課題は認識しています。まず、仕事を与えられたときに、全体像が分かっていない状態で仕事をしていることがあるため、その仕事の背景や流れ、期日をしっかり理解し

てから業務に取り組んでいきたいと思っています。

また、採用活動で、学生に会社説明や工場見学を案内する際に、今は先輩の説明の仕方を見て勉強しているのですが、いずれは自分の経験を活かして、自分なりに説得力のある説明をできるようになりたいですね。



——仕事のやりがいや楽しみな部分について教えてください。

(酒井さん)

学生への説明で、最初は先輩社員の様子を見て、「説明はこうしなければいけない」と思うことが多かったのですが、私は就職活動をしている学生と年齢が近いので、これからは、年齢の近さを活かし学生に寄り添った説明をしていきたいと思っています。そうした自分なりの業務への取り組み方ができるのも、仕事のやりがいや楽しみにつながっています。もちろん、仕事をしていると悔しい経験や壁にぶつかる事もありますが、社員同士の距離が上司と部下も含めて近いので、気軽に相談できます。

(保科さん)

誰かが仕事で失敗した時の反省会はいつもメンバー全員でやりますし、部下から質問や相談があれば先輩社員はしっかり答えるようにしています。

——コロナ禍を経て、終業後の飲み会などはどのような状況でしょうか。

(保科さん)

少しずつ復活してきている状況です。先月、久しぶりに総務部の懇親会が開催されました。ただ、基本的に車通勤の社員が多いので、帰り際に「飲みに行こう」というのは、東京などと違い難しいため、予め予告して開催します。大人数では約4年ぶりだったので、初めてお酒を酌み交わすメンバーも多くて、すごく盛り上がりました。

(酒井さん)

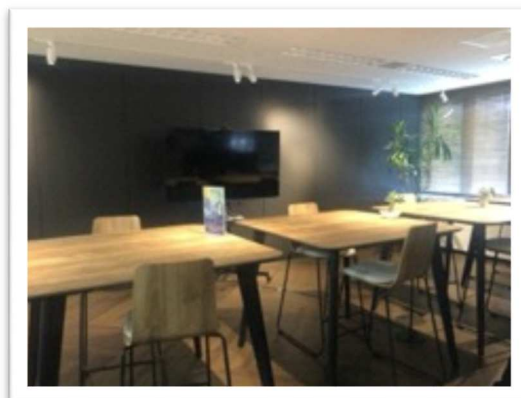
ラーメンがとても好きで、仕事終わりにラーメンを食べに行っています。入社時に、社内報に新入社員の紹介が載るのですが、一言PRのところにも「山形県の全ラーメン制覇を目指しています！」と書いてしまいました。

(保科さん)

やっぱり社内報はみんな読んでいますね。今の話のように、「酒井さんはラーメン好きだ」という情報が掲載されると、先輩方は同行先の地域のおススメのラーメン屋さんに入れてくれたみたいです。

(酒井さん)

本当に毎日ラーメンの日々でしたね。その時は、社員の皆さんが、本当に社内報を読んでいるのだと実感しました。



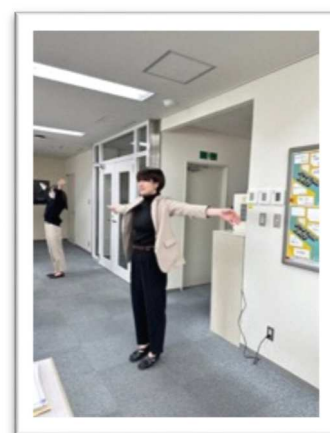
(3) ある日の過ごし方編

● 8:30 【出勤】

全員でラジオ体操をしてから朝礼を行います。

● 9:00 【事務作業】

担当している社宅関連業務や職制表の更新作業などを行います。
個人情報を取扱う業務なので、十分注意して作業しています。



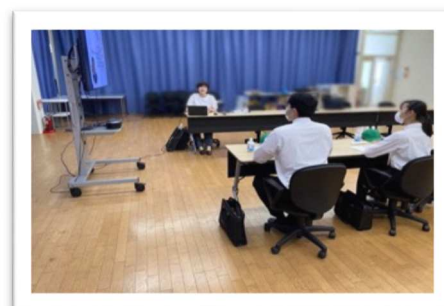
● 11:00 【インターンシップ】

- ・ 学生さんの送迎
最寄り駅より学生さんを送迎します。
- ・ 物件見学
当社製品が使用されている物件を紹介します。
- ・ 昼食会
インターンシップに参加頂いた学生さんとランチします。
- ・ 工場見学
工場へ移動し、学生さんに製造現場を案内します。動いている機械が多いため、安全に気を付けて説明しています。
- ・ 会社説明
当社の事業内容や、主力製品である金属サイディングの説明、組織情報について説明します。
- ・ 先輩社員座談会
年齢の近い先輩社員との座談会を行います。私自身、学生さんと年齢が近いので、学生時代を思い出しながら会話をしています。

● 16:00 学生送迎、後片付け

● 16:30 【事務作業】

本社に戻り、事務作業を行います。



● 17:30 【終礼・退勤】

退勤後は、自宅でバラエティー番組を見るのが日課です。大好きな芸人さんを見て癒されています。

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で就職してよかったと思うことは何ですか。

(酒井さん)

実家から通えることはいいですね。家に帰れば話し相手がいるのが実家のいいところですよ。入社1年目の時に、営業の研修で2か月間東京に暮らした事がありました。私は、地元も大学も山形で、今まで山形から出たことがなかったので、仕事が終わって都会の街中を一人で帰る感じがすごく落ち着きませんでした。そのあと、山形に帰ってきて、田んぼや山を眺めているときに、すごく落ち着くと思いました。自然が豊かなのは山形のとてもいいところだとしみじみ感じる機会になりました。

(保科さん)

好きだね、山形(笑)。

(酒井さん)

採用活動をしていても、一度は大学進学で県外に出た人が、やっぱり山形で働きたくて戻ってきたという人が結構います。一度県外に出ることで、改めて山形の良さがわかるということかもしれません。

(保科さん)

今年4月入社の大卒社員は全員山形出身者になりましたが、去年は三分の一でした。県外出身者も一定の割合で入社している状況です。1ターンして、こちらで結婚されてパートナーが山形在住の方というケースも結構あります。そういう人が増えてくれるといいですけど(笑)。それから、リファラル採用とって、友人や大学のゼミ、部活の後輩へ「うちの会社来なよ!」と声かけしてくれているみたいで、自信を持って薦めてくれる社員が増えてきているインナーブランディングの効果じゃないでしょうか。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どのように過ごしていますか。

休みの日は、土日どちらかは外出し、もう片方は自宅にすることが多いです。自宅にいる時は、ひたすら録画したお笑い番組やアニメを見ています。外出するときは、家族や友達と出かけています。先日は、会社の先輩に誘ってもらい、4人で酒田にキス釣りに行き、釣った魚を天ぷらにしたり、BBQ をして楽しむことができました。他には、ラーメンが好きなので、アプリのラーメンマップで記録をつけて、どんどん新しいお店を開拓しています。結構、ジャンク系やG系が好きです（笑）。

——おすすめのラーメン店はどこですか。

イオン山形北店の近くにある「麺屋春馬」によく行きます。お勧めは、「汁なしジャンク盛り」です。金曜日の退勤後に食べると最高においしいですよ。スタッフの方に覚えられて、言わなくても紙エプロンが出てきたり、チラシをもらいます（笑）。



——通勤方法と通勤時間について教えてください。

車で片道 30 分です。山形は車が無いと生活できないとネガティブな意味で言われますが、東京に研修で 2 か月間暮らした時に感じたのは、「やっぱり車の移動っていいな！」ということでした。電車での移動は自分だけの空間じゃないんですよ。それを経験したからこそ、

自分だけの空間の車での移動は大好きですね。

(5) まとめ編



——酒井さんをはじめ、女性の働きやすさについて教えてください。

(酒井さん)

営業部門だと、東京の営業所では多くの女性社員が活躍しています。今後の採用活動でも女性の営業を増やしていきたいと思っています。入社後1年間の研修で、いろいろな部署を回りましたが、働くうえで女性だから働きにくいと感じる事はありませんでした。製造部門に行っても、女性用の更衣室やお手洗いはしっかり整備されていますし、製造ラインにも、最近は女性が増えてきています。自動化によって、男性でないと持ち運べないという事がなくなったので、安心して働いていただけるかと思います。

(保科さん)

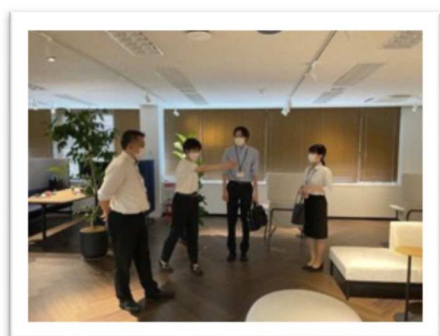
製造部門は、男性の職場のイメージがあると思いますし、実際、これまでは製造ラインに女性を配置することは少なかったのですが、最近は多くなってきています。それによって、女性でもできるようにと設備改善などが進み、同時に省力化が進みました。それから、当社は出産で退職される女性社員が、ここ数年おらず、皆さん復帰頂いていますね。また、短時間勤務制度を利用される方も多く、保育所への送迎などで活用してもらっています。育児と仕事の両立は、社員の皆さんにとって大事な事ですので、当社としても皆さんが働きやすい制度を整備し応援しています。

———本日は貴重なお時間をいただきまして、本当にありがとうございました！

仕事を選ぶときは視野を広げて、自分が暮らす様子も想像しながら探すと、より楽しく生きていけると、お二人のお話を聞いていて感じました。また、中小規模ならではの社内の柔らかい雰囲気は、地方でこそ体現できる人の温かさを反映しているようでした。

改めて、アイジー工業さま、取材させていただきありがとうございました！

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 岡崎 拓未、室井 みなみ】



アイジー工業株式会社

【金属外装材のリーディングカンパニーです！】

弊社は主に建築用断熱外壁材（金属サイディング・金属サンドイッチパネル）及び金属屋根材の研究開発、製造、販売を行っています。

「わたしたちは、ニッポンの建物を強く、優しく、美しく包みます。」を企業理念とし、まっすぐな姿勢で、自分たちのオリジナル製品を全国へ発信しています。

☆令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(技術部門)」受賞

- ・所在地 東根市蟹沢上縄目 1816-12
- ・設立 昭和 45 年 4 月
- ・従業員数 398 名（男性 335 名、女性 63 名）
- ・URL <https://www.igkogyo.co.jp/lp/recruit/>

